

滋賀と琵琶湖

滋賀県の位置

滋賀県は日本のほぼ中央、北は福井、東は岐阜、南東は三重、西は京都府に接しています。周囲は伊吹、鈴鹿、比良、比叡などの山々に囲まれ、中央には県の面積（約4,017平方キロメートル）の約6分の1を占める日本最大の湖である琵琶湖があります。周囲の山々からは120本以上の川が流れ込み、瀬田川だけが琵琶湖から流れ出す川となっています。
滋賀県の人口は1,404,616人です（平成23年1月1日現在）。

滋賀県データ

- 県の木 もみじ
- 郷土の花 しゃくなげ
- 県の鳥 かいつぶり
- 滋賀県イメージキャラクター
 - うおーたん（湖国21世紀記念事業のイメージキャラクター 1999年～）
 - キャプティ（スポレク滋賀2008のマスコットキャラクター 2007年～）
- 姉妹都市
 - リオ・グランデ・ド・スール州（ブラジル連邦共和国）
 - ミシガン州（アメリカ合衆国）
 - 湖南省（中華人民共和国）
 - ※いずれの州・省にもパトス湖・ミシガン湖・洞庭湖といった大きな湖があります。

琵琶湖データ

- 面積 約670平方キロメートル
《滋賀県の約6分の1。長浜市の面積とほぼ同じ。》
- 周囲の長さ 約235キロメートル
《大津市から静岡県浜松市までの長さとはほぼ同じ。》
- 水の量 約275億立方メートル
《湖の水がすっかり入れ替わるのに、19年以上かかるといわれている。》
- 幅の一番広い所 22.8キロメートル
《高島市新旭町饗庭と長浜市下坂浜町の間です。》
- 幅の一番狭い所 1.35キロメートル
《びわ湖大橋付近が最も狭く、ここから北を北湖、南を南湖と呼んでいます。北湖の面積は南湖の約11倍です。》
- いちばん深いところ 約104メートル
《安曇川の沖合です。》
- 平均の深さ 約41メートル

【もっと詳しく知りたいひとへの案内】 (関連文献/関連施設)

- 大津市歴史博物館 『図説大津の歴史』 大津市
- 湖族の郷資料館 TEL 077-574-1685
- 大津市歴史博物館 TEL 077-521-2100
- 琵琶湖博物館 TEL 077-568-4811

琵琶湖

滋賀県

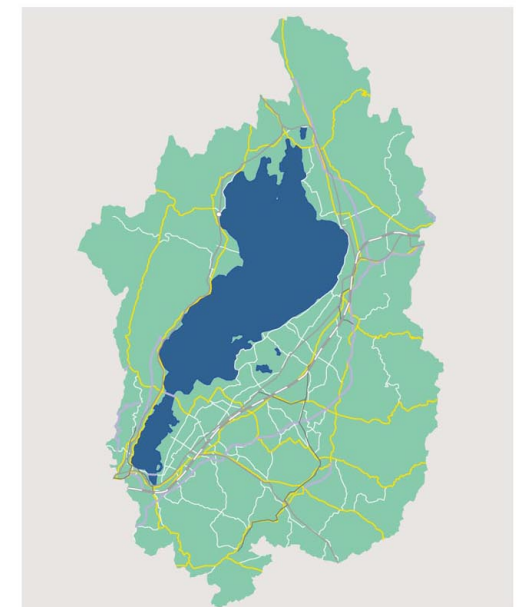


『琵琶湖図』 円山応震筆 滋賀県立琵琶文化館所蔵

私たちの暮らす滋賀県は「近江（淡海）」の名前が示すように、琵琶湖に生まれ、琵琶湖と共に歩んできた。

この湖は日本最大（面積約670 km²）であるだけでなく、400万年以上前に形成された日本唯一の古代湖でもある。ここには、ビワコオオナマズやホンモロコなどの固有種を始めとして、1,000種類以上の他種多様な生態系が存在する。

一方、琵琶湖と人間の関係は、今から1万年以上前の縄文時代早期から始まり、現在に至るまで続いている。こうした持続的な関係は、琵琶湖と人々の「共生」や「資源の循環」によって構築されたものであり、未来に継続することが求められている。





【うやまう】 上
湖中に立つ鳥居（白髭神社）

【くらす】 下
水路がめぐる村（伊庭）



琵琶湖

所在地 滋賀県

滋賀の文化的資産と琵琶湖

文化的資産という視点から見てみると、滋賀県には見るべきものが実に数多くあります。国宝・重要文化財の建造物は181件で全国第三位、同じく美術工芸品は625件で全国第四位、また平成17年に施行された重要文化的景観の第1号は「近江八幡の水郷」です。

このように全国屈指の文化的資産を保有することになった背景には日本最大の湖、琵琶湖の存在が大きく関わっているのです。

琵琶湖の多様な側面

琵琶湖へと注ぐ河川を含め、人々の暮らしは水とともにあり、長い年月をかけて豊かな水に関わる生活文化が培われてきました。

日本列島の中程に位置する琵琶湖は、日本海と太平洋・瀬戸内海を結ぶ巨大な運河として機能したことから、多くの船とともに富が行き交いました。

琵琶湖が織りなす多様な景観は、古来より景勝の地として多くの舞台に登場し、中でも近江八景は浮世絵や俳句に紹介されるなど、広く知られています。

【ゆきかう】 右
急がば回れ（瀬田唐橋）

【つくる】 下左
丘陵を掘りぬいた水道（西野水道）

【めでの】 下右
滋賀県の花（鎌掛谷のシャクナゲ）



琵琶湖は延暦寺本尊である薬師如来の坐す東方浄瑠璃世界になぞらえられ「天台薬師の池」と称される深い信仰の場でもありました。このように、琵琶湖と人々との関わりの歴史の中で数多くの個性的な文化が生み出されていったのです。

近江水の宝

滋賀県教育委員会では平成20年度より、県内



にある多様な歴史資産を、「琵琶湖や水と人々との共生」という視点から再評価し、人と自然と文化との関わりを、うやまう、くらす、ゆきかう、つくる、めでの、おくるというカテゴリーに分け、「近江水の宝」として選定し、積極的に活用する事業を行っています。

「琵琶湖」は、滋賀の様々な歴史資産の源泉でもあり、それを未来に「おくる」べき宝物として選定しています。